

研究・調査報告書

報告書番号	担当
303	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and body weight 飲酒と体重	
執筆者	
French MT, Norton EC, Fang H, Maclean JC.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Health Econ. 2010 Jul;19(7):814-32.	
キーワード	
飲酒、肥満、アメリカ	
要旨	
<p>過体重または肥満であるアメリカ人の数は、流行の域に達している。体重増加は健康問題と増大した医療費に関連する。今回、体重増加に対する飲酒の役割を調査するために、国家アルコールおよび関連調査 1・2 を使い分析した。アルコールは嗜好品だけではなく、代謝機能や認知機能を障害しかねない高カロリー飲料である。男性と女性とでは、摂取するアルコールの種類と量、飲酒による生物学的影響そして肥満による影響が異なるため、性別で異なる結果が予想される。飲酒と体重に影響する、時間によらずかつ観察されない因子を調整するために、体格指数 (BMI) と飲酒 (頻度と量) の第一相違モデルを使用する。増加した飲酒の頻度と量は、男性において統計的に有意だが小さな体重増加と関連したが、女性においては関連しなかった。さらに第一相違モデルの結果は非常に小さく、ベンチマーク・プール断面評価で比較においても幾分異なった。</p>	